

2008 Summer VOL.58



# アイの四季だより



## アイセレモニー株式会社

本社/営業本部・智の会・相談室・花環工房  
飯綱町黒川2415(飯綱ホールとなり)  
☎026-253-1377 FAX253-1378

フリーダイヤル ☎0120-796-311

- アイセレモニー飯綱ホール(飯綱町黒川)
- アイセレモニー五岳ホール(信濃町古間)

アイの四季だより 発行・責任者/丸山哲一

原産は熱帯アジアといわれている。——アサガオ(朝顔)▶  
花の色は白・紅・あい・わずみ・赤など多彩。  
その名の通り、朝早く開花し、午前中にしぼんでしまう。  
種子は漢方薬の下剤、利尿剤として薬用されていること、ご存知でした？

親鸞(一一七三〜一二六二)浄土真宗の開祖。九歳で出家し、二十年間比叡山の僧として過ごす。都のチリにまみれた俗界叡山はもはや出家の住むところではないと悟り、六角堂に籠り救いの道を祈り求め、夢の告げによって法然(ほうねん)の門に入る。本願に帰した専修(せんじゆ)念仏に励むが念仏停止の圧力が加えられ、承元一年法然は讃岐へ、親鸞は越後に流される。その後、建暦一年に罪はゆるされた翌年、師の死にあい、伝道の地を

人形劇の舞台を主宰する信濃町の森山木の実先生による人形劇「親鸞聖人と山伏・弁円」が上演され、はらはらドキドキの連続。引き続き、  
・おつとめ「正信偈」  
・御法話 池永文雄師  
(上越市・明願時住職)  
門信徒約四十名様お集まり頂き、意義深い「報恩講」であったと、ご好評でした。



ごあいさつ 司会進行 明願寺 住職 渡辺信雄

信濃町柏原「明願時報恩講」は、七月一日(火)午前十時より開催されました。  
**人形劇「親鸞聖人と山伏・弁円」**  
命がけの布教活動



この板敷山を通らなければ柿岡村へ行けぬはず。月も出てきた。今夜こそ親鸞をやっつけるゾ！あれ、姿だゾ。今夜も姿が見えず、柿岡村へ着いている。



「おい、弟子のカンエン。近ごろ俺の信者が減ってきた。どうしたんだ？」と弁円。「親鸞さまの方へ」「いえ、親鸞の方へ」

東国にもとめ、一二二四年(建保二年)茨城県に移り住み、主に稲田で布教活動。  
人形劇はこの常陸の国(茨城県)稲田での活動にポイントを絞りに込で物語りは展開する。  
始めてその土地、そして天台宗・真言宗の寺院、神社の多い所で命がけの布教活動。特に山伏・弁円は親鸞を殺す為、刀を振りかざして襲いかかってくる。さあ、親鸞はどうされたか？



人形劇の 森山木の実先生  
親鸞聖人と同化して大熱演ノ



親鸞は「正直な方だ。思ったことをはっきり言う」とともに仏の道を「弁円は刀で切りかかる。親鸞の運命はいかに……



「わたしは弁円さまに逢ってくる」と親鸞。「おやめください。殺されるから」と心配な村の衆



親鸞をひとつらえて、火の中へ。準備は完ぺき。されど親鸞見えず。俺の信者減るばかり。



## 盂蘭盆会

うれしいお盆 間近!

『盆と正月がいつしよにきちゃったすっごく嬉しいこと』の表現によく使われる言葉です。  
盆と正月は年中行事のなかでもっとも代表的なもので、元来同じものであったようです。正月の門松に対して、盆には盆花が祖霊をお迎えする。正月はどんど焼きがあり、盆には迎火、送火がある。  
中元に祖霊を迎え、供物をそえて

供養する行事である『盆』は、仏教の魂祭(たままつり)である盂蘭盆(うらぼん)を略した言葉として使われていますが、正月行事とともに民間歳事習俗の両大関として発展。民間の農耕儀礼と仏教の盂蘭盆行事とが習合したものと考えられています。  
**お盆は おいしいものが たべられる**  
仏教が精進を要求して「なまぐさ物」を排除したことから、逆に魚・海産物には精進の拘束を解く力があると解釈され、盆(盂蘭盆)にはむしろ盛んに魚・海産物が食べられるようになったといわれます。  
なんだからと理屈をこいで、早い話、とりあえず精進はあっちへ置いて、お盆にはみんなでおいしいものを食べようね。特にお刺身がないとお盆が来ない！  
もちろん、お墓もお掃除して、お仏壇には盆花と料理をおそなえて、丁寧に祖先さまをお迎えするから許してね。  
※精進 ひたすら善いことを行い、悪いことを断つ行為。  
精進の(精)は心を純一無雑にし、(進)は理想に向って進趣するをいい、心身を慎み酒魚肉を断つことをいう。うーむ……すかしのな、アライは……  
倒懸(さかさかけ)という意味の梵語から転化したインド農耕社会の祖先崇拜に発したものとされます。子孫が絶えて供養されない霊は、倒懸の苦を受けるといわれ、これに飲食を供えて苦しみを救うという民間信仰が仏教に習合して、夏安居(げあんご)の終り七月十五日(八月十五日)の自恣(じし)供養の会と結びついたものといわれています。

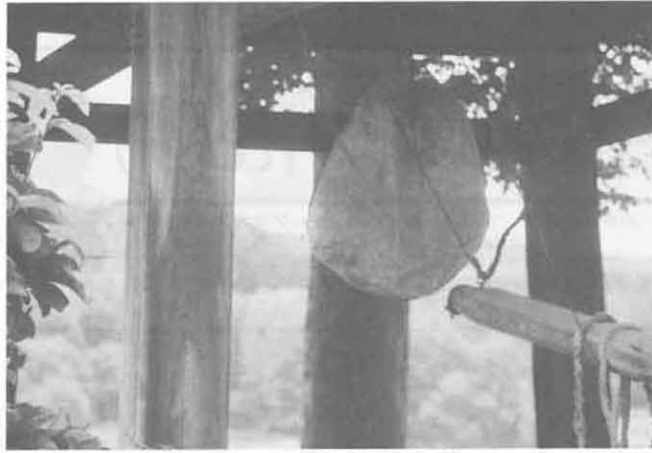
シリーズ名刹をたずねて

# 巨石の梵鐘が 今もなお

## 真宗西本願寺派

### 照林山 称名寺

信濃町柴津



称名寺の鐘楼には今も巨石が吊られている。あの暗い時代を思い起こさせる。

戦争は国境を越えた悲惨な無差別の虐殺行為。その人殺し道具の弾丸づくりを目をつげられたのは、鉄製の寺の鐘であった。

アジア・太平洋戦争時に、国から強制的に供出させられ、代りに巨石を吊り下げられていた。

称名寺の鐘は、美しい音で四里八方に響き渡っていたという。新たに鐘を付けることなく、当時のままの巨石を吊り下げてある。二度と戦争を起こさせないことへの強い意志の表現として、頑固に！

巨石の梵鐘に寄り添う ▶  
しだれ桜は 樹齢二百四十年

### 「憲法九条」改悪反対

いま、キナ臭いにおいが立ち込め始めている。また戦争をはじめられるようにする「憲法九条」改悪。

憲法九条を守る仏教関係者らでつくる「念仏者九条の会」全国集会在六月下旬、ここ称名寺で行われた。

改悪阻止活動のポスターに称名寺の巨石梵鐘の写真が用いられ、全国から僧侶ら数十名が集まり、称名寺の強い信念が全国に伝わり、改悪阻止の大きなうねりとなっている。

### 時代の波を乗り越えて 歴史を継承 現在に至る

寺歴によると、称名寺は僧名順(俗名佐々木高胤)創建。現在の地に移したのは慶長二年(一五九七年)八月とある。本尊・阿弥陀仏

今から四百余年前のこと。安土桃山時代。この一年後に豊臣秀吉没して徳川家康の江戸時代に入る。

世襲制度により住職は第何世となりますか? 「さて、間があったから、たしか十四世かな。でも今さらどうでもいいことよ」と、住職は謙虚におだやかに。

### 水墨画を極める 佐々木明信住職



たえずご近所の方や遠方からはるばる訪ねてみえる方々を持て成して笑い声が絶えない、きさくなおぼあちゃん住職。でも親しい友人によると「サビが効いて、チクリと刺されるよ」と。そりやそうだよね。やさしいおぼあちゃんと言えども、仏の道歩む僧侶だもん。

昨年、六本木ヒルズに美術館が誕生。初出品で見事入選。スゴい芸術家としての一面を持つ、若々しいおぼあちゃん仏教家で。

称名寺住職 佐々木明信  
信濃町富濃三五七三(柴津)  
電話〇二六―二五五―五一六六



あつ、そつた、お中元 贈らなくっちゃ

「中元」って何のこと? 上元、下元もあるの? あるんです。元来は道教の三宮信仰にもとづくもので、魏・晋時代以降に起った中国の習俗で、のちにインドの古習俗に由来する仏教の盂蘭盆会(うらぼんえ)と習合したといわれます。上中下の三元に配当して、天官は一月十五日上元に生まれて福を与える神。水官は十月十五日夜元に生まれて水火の災を防ぐ神。そして地官は七月十五日(八月十五日)中元に生まれ善悪を分別し人間を愛して罪を許す神と考えられていた。

なんで中元贈答になったの? ということで、時を定めて来臨する神を迎えて招宴することができ、それがお世話になった方、目上の方へのお礼という形になって現代に続いているものです。(フカッタ? わからねえ……もついでいよ)

不定期に行われる贈答として、冠婚葬祭などの吉事弔事の贈答、病氣、火事、水害などのお見舞、旅の土産、普請(ふしん)、新築祝、誕生祝など。結局はお互いの結合を固くするとか、力づけようという意味があるのです。♥だからお中元忘れないでネ

もしもの時  
電話はこちら  
☎253-1377  
☎0120-796-311  
ご葬儀・ご法事専門  
アイセシモニー株式会社  
飯綱ホール(飯綱町)  
五岳ホール(信濃町)

### 中国名言集 PART II

老いては 益々 壮なる可し  
老年になつたからといって、生氣をなくしてはならぬ。ますます意氣を高くして、青年のように張り切って生きなければいけない。

後漢の大將軍、馬援の言葉。

騎虎の勢い 下るを得ず  
いったん虎の背にまたがって走り出したら、虎が疲れて止まるまで下りるわけにはいかない。途中で下りたら大ケガをするか、虎に食い殺されてしまう。

事を始めたら、最後までやり通せということ。

棺を蓋いて事定まる  
人間、生きているうちにその人の価値は決まらない。棺桶に蓋をされた

て後、はじめて真価がわかる。  
人間の真の価値は死後はじめて決まるものだ、ということ。

杜甫が「晋書」劉毅伝にある「大丈夫、棺を蓋いて方に定まる」を引用して、不遇を嘆いている友人の子蘇傑に贈った詩の一節。

天の時は地の利に如かず  
地の利は人の和に如かず

第一に天の時、第二に地の利、第三に人の和を考え、この三条件を整えることが力ギと考えられていた。しかし、孟子はこの三条件を同等とせず、順位をつけて、人の和こそ一番大事とした。

どのような組織でも、人の和が無ければチームワークが乱れ、統制のとれた行動はとれないということ。

### 季節の風物詩

フウセンカスラ

風船のような、ホオズキのような形をしていておもしろい。いけがき用に栽培され、陽差しを遮って、涼を呼ぶ。

子供のころ、これを風船のように口先きに当てて空気を入れてお手玉にして遊んだ記憶がある。

支柱の竹につるを巻きつけたまま切って、切り花にも用いられる。

季節の風物詩

季節の風物詩

季節の風物詩

季節の風物詩